

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2021-35625(P2021-35625A)

【公開日】令和3年3月4日(2021.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2021-012

【出願番号】特願2020-199776(P2020-199776)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月27日(2021.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

遊技球を遊技領域に発射させる発射手段と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な始動入球部と、

前記始動入球部へ遊技球が入球することに基づいて特別情報を取得する情報取得手段と

、
前記情報取得手段の取得した特別情報を予め定められた所定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が、遊技状態を遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行させるか否かの移行判定を順次行う移行判定手段と、

前記移行判定手段による移行判定の結果が、遊技状態を前記特別遊技状態に移行させることに対応する移行対応結果となったことに基づいて、遊技状態を前記特別遊技状態に移行させることができない移行前状態に設定する第1設定手段と、

遊技球が通過可能な通過部と、

遊技状態が前記移行前状態である状況で、前記通過部を遊技球が通過したことに基づいて、遊技状態を前記特別遊技状態に設定する第2設定手段と、

前記始動入球部への入球率が向上する第1状態と当該第1状態よりも入球率が低い第2状態とに変化することができる変化手段と、
を備え、

前記変化手段の制御モードとして、前記変化手段が前記第1状態となる頻度及び前記第1状態が維持される期間の少なくとも一方が、相対的に高低となるように高モードと、低モードと、が設定されており、

前記第1設定手段による前記移行前状態に設定する処理の後で、前記制御モードを前記低モードに設定する処理を行うことが可能な第3設定手段を備え、

前記第3設定手段は、前記通過部を遊技球が通過するよりも前に前記低モードとする処理を行うことが可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明は、

遊技球を遊技領域に発射させる発射手段と、

前記遊技領域に設けられ、遊技球が入球可能な始動入球部と、

前記始動入球部へ遊技球が入球することに基づいて特別情報を取得する情報取得手段と

前記情報取得手段の取得した特別情報を予め定められた所定数を上限として記憶する取得情報記憶手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が、遊技状態を遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行させるか否かの移行判定を順次行う移行判定手段と、

前記移行判定手段による移行判定の結果が、遊技状態を前記特別遊技状態に移行させることに対応する移行対応結果となつたことに基づいて、遊技状態を前記特別遊技状態に移行させることができない移行前状態に設定する第1設定手段と、

遊技球が通過可能な通過部と、

遊技状態が前記移行前状態である状況で、前記通過部を遊技球が通過したことに基づいて、遊技状態を前記特別遊技状態に設定する第2設定手段と、

前記始動入球部への入球率が向上する第1状態と当該第1状態よりも入球率が低い第2状態とに変化することができる変化手段と、

を備え、

前記変化手段の制御モードとして、前記変化手段が前記第1状態となる頻度及び前記第1状態が維持される期間の少なくとも一方が、相対的に高低となるように高モードと、低モードと、が設定されており、

前記第1設定手段による前記移行前状態に設定する処理の後で、前記制御モードを前記低モードに設定する処理を行うことが可能な第3設定手段を備え、

前記第3設定手段は、前記通過部を遊技球が通過するよりも前に前記低モードとする処理を行うことが可能であることを特徴とする。